



学校と子どもたち

Bangladeshでは、プライマリー (小学校)、ハイスクール (中学校)、カレッジ (高校)、大学が置かれています。

日本では、小学校と中学校程度の教育を子どもたちに受けさせなくてはならないというきまり (義務教育といいます) になっていますが、ここでは小学校5年間が義務教育です。

けれども、道ばたでは仕事をしている子どもたちもたくさん見かけ、「全員が学校に行っている」とはいえない状態です。学校に行くには、制服

や文房具をそろえるためにお金がいります。家が貧しくそれらのお金が払えない、子ども働かないと家族みんなが食べていけない、進級テストに合格できなくて学校をやめてしまう、など理由はいろいろです。だから、子どもはもちろん大人の中にも文字が書けなかったり計算ができなかったりする人たちが大勢いるのです。

学校に行けば、文字も書けるし、計算もできる、テストにどんどん合格していけば、将来たくさんお金をもらえる仕事につくことができます。だから「学校に行ったほうがいい」とみんなわかっているのです。でも、

学校	クラス	年れい	日本でいうと？	
ツカレ	12	17~18	3年生	高校
	11	16~17	2	
ハイスクール	10	15~16	1	中学校
	9	14~15	3年生	
	8	13~14	2	
	7	12~13	1	
プライマリー	6	11~12	6年生	小学校
	5	10~11	5	
	4	9~10	4	
	3	8~9	3	
	2	7~8	2	
	1	6~7	1	

わたし がっこう へ いったら、 今日 食べる ごはん は どうなるの？



・・・学校に行かず働くことで家族を支えているという子どももが、ここにはたくさんいるのです。

今、私は同じ Bangladesh で活動している隊員の人たちと一緒に2年生の算数ドリルを作っています。「テストに合格できなくて学校をやめてしまう」子どもたちが少しでも減るといいなあと思っています。



だれもが学校で学べるということは、「世界中で当たり前」のことではないんだね。世界には「学校に行きたい」と思っても行けない子どもたちもいることを忘れないで。